

# 市政の ここが聞きたい!!

## 一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。

なお掲載文は、議員本人作成（文責）の原稿です。



幸前 信雄 議員

### 長期財政計画について

**問** 作成の手順はどのようになっているのか。

**答** 歳入の個人市民税は生産年齢人口の推計に連動させ、歳出の扶助費についても児童手当等は年少人口推計、後期高齢者福祉医療も後期高齢者の人口推計を反

映して作成。作成は、エクセルで実施している。

**問** 作成するための工数は。

**答** 財務グループだけで150時間を超えており、他グループを加えると、かなりの工数となる。

**問** 平成30年度は、当初予算の10%を超える20億円弱の追加補正が実施されたが、その対策は。

**答** 市税収入が著しく減少した場合と、財政調整基金が10億円を下回るような場合には、対応策を検討していく。

**問** 市債残高よりも債務負担行為の額が大きな現状を、どのように考えているか。

**答** 債務負担行為は、将来にわたり支出義務を

伴うもので、市債残高同様に注視した財政運営が必要と考える。

### 財政指標と財政について

**問** 平成31年度当初予算を執行した場合の経常収支比率は。

**答** 平成30年度の当初予算編成時と比較して、0.5%増の89.1%を見込んでいる。

**問** 財政が硬直化していく危険なレベルに近づいているが、具体的な活動は。

**答** 市税増の取り組みとして、企業誘致の推進、債権回収の強化を実施。歳出削減として、経常経費の見直しに向けた基本方針の作成に取り組んでいる。

**問** 財政力指数はどうなるのか。

**答** 平成30年度は、結果として1を下回り交付団体となったが、平成31年度は、1をわずかに上回り不交付団体となる見込みである。

**問** 債務負担行為の残額は。

**答** 市債残高が約83億円、下水道の起債残高が約76億円、水道事業の起債残高が約7億円で、債務負担行為の残額が約120億円である。